



《高ボッチ山頂より朝日村を望む》

鉢盛おろし

山から朝日村を見て思う

数年ぶりに高ボッチ山頂に登ってきました。東山ルートは通行止めで、崖の湯ルートより車で向かいました。道は狭く、舗装はされていませんが、すれ違いできる場所まで二度ほどバックをする羽目になりました。頂上付近の駐車場より徒歩七分程で山頂に着き、朝日村の写真撮影をしましたが、左側を見ると、異様に四角く諏訪湖が見えました。そういえば、某テレビ局で、有名人と女性アナウンサーが各地を紹介する番組があり、諏訪湖は断層の横ずれにより、四角い形で誕生したという話があったのを思い出しました。その時、近くの現在朝日村付近ではどの程度被害があったのでしょうか。そこで、断層はどこを通っているのか等調べてみました。断層名は、「糸魚川静岡構造線」であり、長野県内では、小谷村付近から姫川に沿い、白馬村、大町市、池田町、松川村、安曇野市、松本市、塩尻市、岡谷市、下諏訪町、諏訪市、茅野市、富士見町を通っているそうです。

また、安曇野市から諏訪湖南方の茅野市付近に至る約45km間は活断層群となっており、「牛伏寺断層」は有名で、篠ノ井線と併走する区間もあるそうです。近頃は各地の風水害が多いですが、地震対策も忘れないようにしたいものです。



第34回朝日村お夏まつりが、8月5日(土)に朝日村運動広場グラウンドにて行われました。今年のお夏まつりは、4年ぶりに従来の規模で開催され、盛沢山な催し物で構成されていました。

第34回朝日村お夏まつり



サンライズ

オープニングは、サンライズのダンスから始まり、風雷暴、じゃがらずの演奏、朝日小学校金管バンドの演奏へと続きました。



風雷暴

祭りは徐々に盛り上がり、「開始イベント」(子狐の舞、実行委員長の挨拶、朝日鉢盛太鼓等)、「踊りの祭典」、「踊り連の表彰」、「花火の祭典」へと流れていきました。盛り上がりの波は、メインステージや踊りの輪にとどまらず、商工会のテント、夜店の列へと延び、大変盛況でした。諸説ありますが、4年前より人出はたくさんであったと、私は感じました。



メインステージを見守る、村のお歴々

「嫁入りの行列」「結婚の儀」は、今年も行われませんでした。「お夏まつり実行委員会」の皆さんが、検討していただいた結果であり、実行委員会の方の判断を尊重したいと思いました。この「お夏まつり」の光景は、テレビ松本で生中継され、家の中でご覧になった方も多いかと思えます。



夜空を彩る花火



きつねメイクの見本??? モデル: 古見分館長



踊りの輪



特集

分館納涼祭

新型コロナウイルス感染症が5類移行となり、行動制限がなくなりました。

しかし、連日の酷暑続きで体調不良という方も多いのではないのでしょうか？そんな中、4年ぶりに各分館で納涼祭が開催されました。各分館の編集委員がレポートしてくれましたので、ご覧ください。

西洗馬分館

7月15日(土)19時より、JA西洗馬集荷場にて、西洗馬分館の納涼祭が行われました。

コロナの影響で開催できておりませんでした。4年ぶりに開催となりました。そのことについて分館長の菅沼さんは、「経験者がいない中で大変なこともありましたが、盛況すぎて驚いています。」とうれしい悲鳴をあげつつも、「運営委員のみんなが頑張ってくれたおかげです。」とその盛況ぶりに充実した表情でした。

主事の高木さんは、「予想外の大盛況で、子どもたちへ配る花火を前回の80個から100個に増やしたが、すぐに無くなってしまいました。運営委員の方々も飲まず食わずでよく頑張ってくれまし



た。」とやはり充実した表情で話してくれました。

その言葉通り非常に盛況で、来場した方々も、「西洗馬にもこんなに子どもがいたんだね!」「すごく賑わっていて、みんな集まて楽しい。」「みんなこれ待っていた!」などといった歓びの音がきこえてきました。

例年行っている花火大会は強風の影響で中止となってしまうことが、最後まで盛況でひと夏の暑く熱い一夜でした。

小野沢分館

7月29日(土)、JA旧生活店舗駐車場で行われた小野沢分館納涼祭が、JA朝日支所との同時開催で行われました。最初に分館長の佐々木さんから「今回の納涼祭は、天気よし、食べ物よし、小野沢の人達良しの3良しです。」と挨拶があり、JAの理事の柳沢さんも「世界一いや、日本一のシャリシャリのスイカをご用意しました。」と楽しい始まりとなりました。4年ぶりの開催となり、分館手作りの焼きそば、焼きたての焼き鳥とフランクフルト、食べ放題



のかき氷、良く冷えた生ビールと酔ハイ、かつぺさんの美味しいから揚げ、JAのシャリシャリのスイカと大変甘いとうもろこしと大変充実しておりました。子ども達には、お祭りらしく輪投げやおもちゃ屋の出店、花火大会が用意されました。夜19時半からは、豪華商品が目白押し。のビンゴ大会が行われ100人以上集まったお客さんで21時過ぎまで、大賑わいで大成功でした。



古見分館

7月29日(土) 古見集落センターにて、古見分館「納涼祭」夏フェスタ23が行われました。

4年ぶりということもあり、装いを新たに、キッチンカー、大道芸、音楽ライブ等が用意され大勢の人でにぎわいました。

午後3時から開催され、会場にはキッチンカー3台が並び、クレープ、ロングポテト、かき氷、大阪イカ焼等が販売されていました。また、分館役員によるわたあめが無料で配布され、皆さん飲食を楽しんでいました。

催し物は、

大道芸のけん玉技・けん玉教室、ファイヤーボール、分館によるぼんぼん釣り、夕方には音楽ライブが開かれ、子どもから大人まで納涼祭を満喫していました。



夏のイベントの再開を喜ぶ声が多く聞かれました。



針尾分館

7月29日(土)、針尾スケートリンクにおいて、針尾分館の納涼祭が開催されました。ここ数年は、悪天候やコロナの影響で中止が続いており、本格的な開催は、久しぶりです。

午後6時に納涼祭がスタートすると、射的やキャラクター人形すくい、輪投げなど無料の出し物とキッチンカーによる飲食販売が行われました。浴衣や甚平を着た子どもたちは、自分が欲しい景品を手に入れようと夢中になって楽

しんでいました。キッチンカーでは、クレープやソフトクリーム、フランクフルトなどが販売され、大盛況でした。

午後7時15分頃からは、珈琲哲学の商品券などを景品とした抽選会が行われ、終わりに子どもたちを中心とした手持ち花火大会が行われました。消防団の協力もあり、子どもたちは、安全に花火を楽しむことが出来ました。

両親と弟の4人で会場を訪れていた曾根百華ちゃん



(5)は、出し物で取った景品を両手に持ちながら、「納涼祭に行くのは初めてで、ずっと楽しみにしていた。輪投げとか鉄砲とかたくさん遊べて楽しかった。お父さんと一緒に花火ができて嬉しかった。また来年も、みんなで来たい。」と話してくれました。





サラダの里通信

第13回東日本小学生選抜ソフトテニス大会



くるみさんとこはるさん



相手のサーブに集中する二人

朝日小学校6年生の吉田香春さん、武田来海さんが、ソフトテニス大会長野県予選でベスト8に入り、7月15日(土)・16日(日)に行われた東日本小学生選抜ソフトテニス大会に出場されました。大会では惜しくも初戦突破ならず、相手が強かったとの感想を持たれたとのこと。大会は、東日本大震災の復興の意味合いを含め、宮城県仙台市で開催されました。

きつと、仙台の方に、朝日っ子の、はつらつとした元気を届けできたと、朝日村運動広場テニスコートでテニスをするお二方を見て、感じました。

第44回朝日村ソフトテニス大会



お孫さんと一緒に参加された清水さん



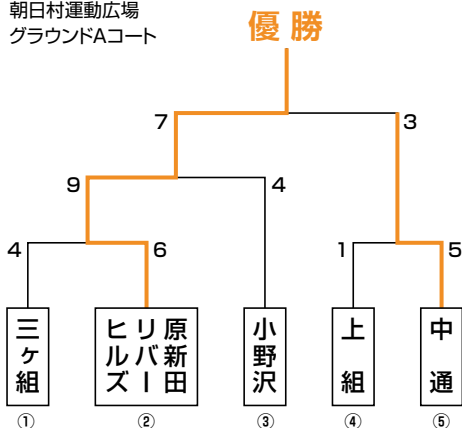
優勝された河東将秀・宮坂太志ペア

朝日村ソフトテニス大会が8月15日(火)に運動広場テニスコートで行われました。今年より年齢・性別の枠組みを外し、小学生女子ペアと成人男子ペアとの対戦もある試合進行となりました。わたくし素人から考えると、はじめは成人と小学生では、一方的な試合運びになるかと思いましたが、そこは力任せだけではないテニスの性質でしょうか、年少者が年長者を負かす場面もあり、意外性に富む楽しい試合運びとなりました。でも、何と云っても、対戦相手との、お互いの力量をはかる高校生のラリーは、すごかったです。

第76回地区対抗野球大会

【第76回地区対抗野球大会試合結果】

朝日村運動広場
グラウンドAコート



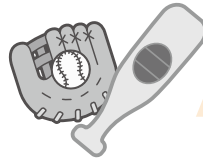
8月14日(月)、第76回地区対抗野球大会(盆野球)が運動広場グラウンドで行われました。

台風7号も進路がそれたため比較的涼しい運動日となりました。今年は、選ばれた5チームの参加となりAコートのみの使用となりました。コロナが収束した事もあり、マスク無しの応援の人も多くいらっしゃいました。第一試合から中学生が大活躍でした。

決勝戦は、7対3で、原新田・リバーヒルズチームが中通チームに勝利しました。

個人賞は、【最高敢闘賞】原新田・リバーヒルズ 勝山直人さん、【敢闘賞】中通 高橋一機さん、【新人賞】原新田・リバーヒルズ 長嶺遥(はる)さん、【特別賞】小野沢 百合恵さんの4名がトロフィーを獲得しました。

閉会式の最中に雨が降りましたが試合には、影響なく無事に終了しました。



第5回鉢盛山登山マラソン

8月6日(日)第五回鉢盛山登山マラソンが執り行われました。

朝日村のシンボルとも言える鉢盛山の名を冠したこの大会。今年の参加ランナーは286名、特に県外からの参加者が半数以上を占め、全国から鉢盛の山頂を目指すというまさに真夏の村の大イベントとして定着してきた感があります。また、選手のみならず、大会を支える関係者・スタッフ、中断があつたにも関わらず、ボランティア希望者は過去最高となり、沿道応援の村民の方々を含めると本場に多くの人が関わることとなり、大会が以後も益々盛大になって行けばと望む次第です。

とは言いながら、この暑い最中に40km近くを汗だくになりながら走って山に登るとは…
まあこっちもその人達に声かけて、水かけて、汗かいて…似たようなものなのかも知れませんがね。



朝日村カレー大作戦

8月9日(水)朝日村社会福祉協議会発案の子ども食堂活動の一環として『朝日村カレー大作戦』が西洗馬三ヶ組集会所にて行われました。

作り手として「さんがサロンスタッフ」の皆さんの協力を仰ぎ調理場は早朝より大騒動！配布時間には、10種類の夏野菜入りのカレーが良い香りと共に出来上がりしました。「何が一番沢山人つてますか？」の問いに「もちろん私たちの愛情よ。」という100点満点のお答えです。この郷土愛たっぷりのカレー、ほんのり甘口でこれなら子どもさんでも美味しく食べられるなあと納得の味。私もペロリと戴きました。村内の子ども達、お母さんお父さん、そしておばあちゃんおじいちゃん、こりや食べなきや駄目でしょう！
なお『カレー大作戦』は今後も村内各所にて7回催行される予定です。皆様お楽しみ…。



鎖川ヤマメつかみ取り大会

7月23日(日)鎖川ヤマメつかみ取り大会が4年ぶりに行われ、村内の園児や小学生170人がつかみ取りを体験しました。

全長20センチ程のヤマメ約110キログラムが放流された朝日橋上流で、年齢別に3回行いました。
合図とともに、子どもたちはせき止めた川に入り、追いかける、待ち伏せる、石の下を狙うなど冷たい水の中で夢中になってヤマメと格闘し、手づかみすると「とれた！」と歓声を上げていました。
ヤマメは時間内に一人5匹で、取れなかった子どもたちをサポートする保護者も一緒に楽しんでいました。

この大会は、鎖川を通し朝日村の自然に触れ、郷土愛と自然に感謝する心の醸成を図ることを目的に行われ、例年は8月15日の釣り大会と同時開催をしていましたが、村内の園児、小学生を対象とするため、今年は分けての開催となりました。



窓口情報



※本人の了承を得て掲載しています。

おめでとう

地区名	出生児	月日	父	母
向陽台	和田一果凛 <small>ひかり</small>	8・15	寛樹	孝子

おくやみ

地区名	氏名	年齢	世帯主
中古見	宮崎美二子	90	宮崎 由紀
旭ヶ丘	小坂さく子	87	小坂 玉海
御馬越	齊藤 高子	96	塩原たい子
上組	小坂 和子	82	小坂神八郎
三ヶ組	高橋 章	91	高橋 政男
中組	小林 智子	96	小林 弘幸



※訂正

7月20日発行No.470のP.8おくやみ情報のお名前に間違いがありましたので、訂正しお詫びします。

リバーヒルズ朝日	誤)岩淵 教子 92
	正)宮淵 教子 88

コンポスト

コンポストを知っていますか？堆肥や堆肥を作るための容器のことを言うそうです。我が家では1年半ほど前から始めています。もともと興味があったことに加え、もえるゴミが生ごみを多く含んで重いことや、ごみ袋代がまあまあ高いことなどがきっかけでした。

堆肥化には色々方法がありますが、私は嫌気性発酵という方法で行っています。ホームセンターなどに売っている密閉式容器とEMぼかし肥料を用意し、家庭で出る野菜くずとEMぼかしを交互に入れていくだけです。容器は2個用意し、二つ目がいっぱいになる頃一つ目を花壇の

植栽から少し離れた場所に穴を掘って埋める、ということができるので薄めて活用します。始めてから、もえるゴミを出す頻度は半分以下に、そしてごみ袋の重さも半分以下に、心持ちも軽くなって大満足です！一方課題はニオイの問題が避けられないことで、家族はもちろん、近所の猫さんに掘り返されて周りのご迷惑にならないよう、容器に入れるタイミンダや花壇に埋めた後の見回りなどの対策も行いつつ、楽しく続けています。

そして想定外の効果もあることがわかりました。定期的な穴掘りで花壇の土が固くなるのを防げること、買い忘れの心

配なく定期的に液肥がゲットできること(保管できないため、すぐにまく習慣もできること)、そして穴掘りが運動不足な私の多少の役に立っていることです。さらに今年はおまけがあり、花壇の2か所から何かが芽を出し、ものすごい勢いで育ち始めたと思ったら、かぼちゃだと判明！本来は取り除く種まで花壇に埋めてしまったことを反省しつつも、栄養満点の花壇で成長著しいかぼちゃを秋に収穫する楽しみができました。

お台所 エッセイ



A・T

みんなのアトリエ



朝日小学校2年1組

さとう りひと
佐藤 凜仁さん

「光ル魚」

ピンクのクラゲが、上手に描けました。



朝日小学校2年1組

たかやま みなと
高山 湊士さん

「おどりをやっているところ」

手のところを、うまく作る事ができました。